

# 夢のかけはし

地元の応援を  
漕ぐ力に変えて。



平成8年生まれ。輝北中学校から鹿屋高校に進学し、ボート競技を始める。立命館大学ボート部では主将を務め、2017年にはアジアの国際大会で銀メダル。昨年の福井国体は3位入賞。県の強化指導員。(23歳)

来年、地元で開催される「かがしま国体」を目指し、大学を卒業後、今年の4月に鹿屋に帰ってきました。国体の会場となる輝北ダムや鹿屋体育大学などで、仲間たちと練習に励んでいます。

ボート競技を始めたのは高校の時。中学校ではソフトテニスをしていましたが、心機一転、新しいスポーツに打ち込みたいと思い、ボート部に入りました。

まったくの初心者だったため、初めは練習やレースがきつかったですが、同級生の部員らと一生懸命練習し、高校総体や国体に出場できたほか、九州大会のシングルスカル（1人乗り）では優勝も経験しました。

しかし、進学した立命館大学のボート部には、全国大会の優勝者など実力者ばかり。不安を打ち消そうと練習に取り組み、徐々に実績を残せるようになりました。また、様々な種類のボートに乗れるようになり、ボート競技に一層のめり込んでいきました。

後ろ向きに進み、速さを競うボート競技は、漕ぎ方次第でスピードに違いが出ます。同じ船に乗る選手同士の団結が必要で、見かけ以上に奥が深い競技です。

これまでで一番思い出深いレースは、大学3年時の「全日本選手権大会」でのエイト種目（こぎ手8人、舵手1人の種目）。その前年に3位と悔しい思いをし、尊敬

## ボート選手

うえきょう

# 上京 未来さん

する先輩たちと優勝したいと思い臨んだレースでした。結果は悲願の初優勝。チームの団結力でつんだ勝利は最高でした。

ボート競技の強豪校として多くの部員を擁し、練習環境が整っていた大学時代と比べると、今は練習の準備などの負担はありますが、多くの方々の支援をいただき、練習に集中できています。

鹿屋で競技を続けたいかと声をかけてくださった先生方や、ずっと応援してくれる両親に感謝し、恩返ししたいと思っています。輝北の方々からも「がんばってね」と励まされる機会が増えました。かがしま国体では、優勝を目指して頑張りたいです。



【右】今年開催される茨城国体に向け、ペアを組んで輝北ダムでのトレーニングに励む。【左】大学時代の仲間や保護者と優勝の喜びを分かち合った、上京さん思い出の一枚（写真左上）。

8月20日(火) 9時5分からFMかのやに上京 未来さんが出演